

詳細

“ELEVEN”はサッカーというスポーツの力を活用し、お互いの価値観を認め合い、援助を必要としている子供たちをサポートしていくことを目的としたドキュメンタリーです。11歳という年齢において、暮らし方への取り組み方はどのくらい違うのだろうか。これは、11の異なった国から集まった、11人の11歳の子供たちが人生というゲームに向け備えていく話です。

“ELEVEN”は世界各国に住む子供たちを繋げ、1つにすることを目的として始動したドキュメンタリーキャンペーンです。それぞれの国が持つ文化や個性に注目することによって、子供たちの人生に対する取り組み方がどれくらい似ているのかを観察していきたいと思っています。“ELEVEN”はMatchbox Productions Ltdと新進気鋭のPied Piper Pictures Entertainment Ltdが作る非営利プロジェクトであり、11カ国のチャリティー団体と連携し、すべての利益をチャリティーとして還元します。

サッカーを共通点と捉え、“ELEVEN”はそれぞれ異なった11の国の子供達の相似点と相違点を、11歳という変わりゆく年齢に焦点をあて、探っていく事が狙いです。このドキュメンタリーでは「文化」と「サッカー」に同時に焦点を当て、その上でサッカーというスポーツがどのように子供たちの人生に影響していくのかを観察していきます。国際的なコペンハーゲンの通りから、リオのスラム街、灼熱のヨハネスブルグまで、子供たちの一日を追い、環境や家族構成が彼らの個性を作っていく上で、どんな役割を果たしているのか探っていきます。そういった大元の違いはあるにせよ、子供たちの暮らしへの取り組み方、日々の挑戦はどのくらい似ているのでしょうか？もしも私たちみな、産まれた時に真っさらなキャンバスだとしたら、11歳という年齢で表面はどのくらいそのまま残されているのでしょうか？

私たちは、今、特別な道のりに乗り出そうとしています。子供たちそれぞれの考え方や価値観を学びながら、彼らの隠された日々の生活を見つめていきます。彼らの、基本の価値観とは何だろう？望みや夢は何だろう？家族や国は、彼らが世界を観る上でどのくらい影響しているのだろうか？子供ひとりの人生は他の子とどのくらい違っているのだろうか？

何故、サッカーなのでしょう？

それは“美しいゲーム”だからです。サッカーは、世界を一つにしてきました。年齢、人種、性別関係なく全ての人々が観戦し、スター選手の技、そしてそれ以上に11人の選手が一つのチームとして一丸となって勝利する、そんなスタイルに魅了されてきました。

サッカーは世界共通言語とも言えます。それはサッカーというスポーツが私たちの中の童心を引き出すスポーツだからだと私たちは思います。

11人の子供たちそれぞれに、サッカーは彼らの人生にどのくらい影響与えているのか？、また、一番好きなスポーツを通して、どんな事を成し遂げたいのか？と問いかけていきます。

まだ、人種差別やその他の差別が蔓延しているこの世の中で、“ELEVEN”は人々の多様性を理解し認めていくと共に、それらの問いかけに対する答えを導き出して行くつもりです。

How?

11の異なる文化、経験、そして主張を持つ11歳の子供たちの鮮やかで感情的な日常を映し出す事で視聴者を90分間の旅へと連れて行きます。その旅では彼らの悲しみも喜びも感じ取ることができます。サッカーが彼らの人生においてどのような役割を果たすかを目撃することができます。

・ 試合

ドキュメンタリーのクライマックスでは11人すべての子供たちがイギリスに集まり、それぞれの国を代表する11人の有名プロサッカー選手とペアを組みます。サッカー史に残るような壮観なシーンになると確信しています。

“ELEVEN”をサポートするということは、社会の平等や団結を支持することであり、困っている子供たちを助けるということでもあります。

“ELEVEN”はただのドキュメンタリーではありません。これはキャンペーンなのです。関連動画やソーシャルメディア、Tシャツやリストバンド等の物販も通してファンを増やしていくのが目的です。私たちは、世界中の人々が手を取り合って、たったの一回だけでも“ELEVEN”という言葉を口にしてもらえたら嬉しいのです。“ELEVEN”には主に4つの目的があります。

- 世界各国の子供たち、映像関係者、そして視聴者を一つにする。
- 世界に存在する様々な文化に対する知識を向上させ、それを容認する精神を構築する
- 差別と戦う
- 援助を必要とする子供たちのために寄付金を集める

11人の監督、11章、1つの物語

参加国：オーストラリア、ブラジル、デンマーク、エジプト、ギリシャ、日本、南アフリカ、スペイン、トリニダード・ドバゴ、イギリス、アメリカ。

私たち制作チームは国々の描写や、ストーリー展開はできるだけ正確に作り上げていきたいと思っています。また、“ELEVEN”を作り上げる過程からすべての国に参加して頂きたい、という理由もあり、監督、制作チームはそれぞれの国を基点に活動している方達を選び、映像を撮って行く事でコラボレーションしていきます。そこに住んでいる人よりも、よりリオの道々を把握している人がいるだろうか？同じ経験のある地元の人よりも、バルセロナの子供たちの深い所まできちんと収めてくれる人がいるだろうか？11の国々が直に作品に参加するよりも、観客の関心や生のストーリーを得る良い方法があるだろうか？